

課目名	着付け						
課目名(英)	Japanese Dressing						
課目単位数		時間数	16時間	担当者	石橋みどり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年						
授業概要	日本固有の衣装である着物についてその作過程における染織などの高度な技術を知るとともに、着付けを通して日本文化に触れ自然と共にある生活様式に対する理解を深め、生徒の日本独自の感性を育成する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				着物の概要について理解できる(歴史・製作方法・着物の品格・TPO)	
		○				着付けに必要な道具の名称と使用用途を理解できる。	
		○				自分で自分の着付けができる。	
		○				講師の指導の下、他人を着付けることができる。	
	○				着付けを特技とし、着物文化に貢献できる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	一年次の復習(着付けの下準備、着方、たたみ方、しまい方)			着付に必要な小道具について復習する 着付手順について復習する		
	2	一年次の復習Ⅱ(美しく装うための工夫について)					
	3	自分で着物を着て帯を結ぶ					
	4	衿のつけ方を学ぶ			裁縫セットの準備・点検		
	5	帯結びのバリエーションを増やす(二重太鼓)					
	6	帯結びのバリエーションを増やす(変わり結び)			結びたい帯がある場合は写真を持参		
	7	自分で袴を着る			着付に必要な着物がある場合は持参		
	8	袴を着付けて、疑似卒業式を行う					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技(知識の習得)		○				60%
	実技(着付けのセンス)		○			○	20%
	授業態度				○		20%
履修上の注意							

課目名	ケースヒストリー						
課目名(英)	case history						
課目単位数		時間数	(30)15	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステコース 2年						
授業概要	外部モデルに4回のフェイシャル施術を行い、お客様の悩みを改善し現場同様に結果を出す様に実施していく。カウンセリングを行い悩みの原因を理解し、改善目的をたてモデルにあった化粧品、機器、技術の選択、適正なトリートメントプランをたて施術する。相乗効果を出すための適切なホームケアアドバイスをし、臨機応変にトリートメントプランを工夫していく。その過程をトリートメント記録としてレポートを書いていく。接客を含め、知識・技術の総まとめになり、実践力をつける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	◎	○			お客様情報のヒアリングができ 肌分析しわかりやすくお客様に原因を説明できる。		
			◎		お客様にあった化粧品、機器、技術の選択ができ施術し、お客様に説明できる。		
				○	具体的なホームケアアドバイスの説明ができ、お客様が実践可能なものを選べる。		
				◎	お客様が快適と思える空間づくり、表情、言葉遣い、4配慮、気配り、お声掛け おもてなしの接客をする。		
テキスト・教材 参考図書	エステティック理論編Ⅰ～Ⅲ・エステティック学 技術偏Ⅰ ・参照プリント(1年次からの含む)・化粧品成分表・QIプラントテキスト 携帯(撮影用)・自分が必要とする資料があれば持参						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~4	症例1(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	5~8	症例2(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	9~12	症例3(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	13~15	症例4(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出 ・4回トリートメント記録作成の提出(PCで仕上げる) (3)定期試験を実施(口頭試問)以上を授業態度と下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	◎			○		40%
	発表・作品						
	施術中の接客				○	◎	10%
履修上の注意	外部モデルは、エステの禁忌事項にあたらぬ人を事前に選ぶ。悩んだら写真を撮って相談すること。						

課目名	ケースヒストリー						
課目名(英)	case history						
課目単位数		時間数	(30)15	担当者	菊池佳子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 エステコース 2年						
授業概要	外部モデルに4回のフェイシャル施術を行い、お客様の悩みを改善し現場同様に結果を出す様に実施していく。カウンセリングを行い悩みの原因を理解し、改善目的をたてモデルにあった化粧品、機器、技術の選択、適正なトリートメントプランをたて施術する。相乗効果を出すための適切なホームケアアドバイスをし、臨機応変にトリートメントプランを工夫していく。その過程をトリートメント記録としてレポートを書いていく。接客を含め、知識・技術の総まとめになり、実践力をつける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: △	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
	◎	○			お客様情報のヒアリングができ 肌分析しわかりやすくお客様に原因を説明できる。		
			◎		お客様にあった化粧品、機器、技術の選択ができ施術し、お客様に説明できる。		
				○	具体的なホームケアアドバイスの説明ができ、お客様が実践可能なものを選べる。		
				◎	お客様が快適と思える空間づくり、表情、言葉遣い、4配慮、気配り、お声掛け おもてなしの接客をする。		
テキスト・教材 参考図書	エステティック理論編Ⅰ～Ⅲ・エステティック学 技術編Ⅰ ・参照プリント(1年次からの含む)・化粧品成分表・QIプラントテキスト 携帯(撮影用)・自分が必要とする資料があれば持参						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~4	症例1(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	5~8	症例2(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	9~12	症例3(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
	13~15	症例4(ビフォーカウンセリング、トリートメントの選択と施術、ホームケアアドバイス) 記録作成			・記録作成シートを完成させ提出してチェックを受ける。、次回のホームケアアドバイスを幅広くリサーチし		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回行う (2)宿題の提出 ・4回トリートメント記録作成の提出(PCで仕上げる) (3)定期試験を実施(口頭試問)以上を授業態度と下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート	◎			○		40%
	発表・作品						
施術中の接客				○	◎	10%	
履修上の注意	外部モデルは、エステの禁忌事項にあたらぬ人を事前に選ぶ。悩んだら写真を撮って相談すること。						

課目名	デッサン						
課目名(英)							
単位数	—	時間数	42時間	担当者	仲真市		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年						
授業概要	線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。鉛筆を用いて線描 > 優美な線の表現を身につける、濃淡による陰影表現 > 眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視力は感性を通して手技の身体能力たる描写力に直結する。逆に描写力養成は感性を育む。感性は手仕事、表現に必須である。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを旨とする。ちょっとした違いに気付くことが大切、ちょっとした差が「凡庸」と「非凡」の大差である。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					色彩体系を説明できる	
	○	○				人物の骨格を表現できる。	
	○	○				量感を理解し、適切な表現方法を選択できる	
	○	○				画材による中間色の表現を会得する。人間の特色を感得し表現できる	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて印刷物、画用紙を配付。デッサン道具一式。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	色彩構成-市街地の景観から色彩を抽出し、再構成して表現する。					
	2	色彩構成-市街地の景観から色彩を抽出し、再構成して表現する。					
	3	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	4	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	5	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	6	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	7	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	8	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	9	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	10	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	11	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	12	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	13	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	14	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	15	人物描写-フルカラー表現、人物をリアルに描く。					
	16	人物描写-人物写真をもとに丁寧にトレーシング、目鼻から始める。					
	17	人物描写-細かい筆さばきにはとても時間が掛かる。入念に進める。					
	18	人物描写-皮膚の色調、頭髮の流れをていねいに表現する。					
	19	人物描写-破綻がないか確認して、微調整して完成。合評する。					
	20	人物描写					
21	人物描写						
評価方法	(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品、配付物			◎	○		100%

科目名	ネイル理論						
科目名(英)	Nail theory						
単位数	—	時間数	15時間	担当者	林理沙		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイク・ネイルコース						
授業概要	ネイリストとしてお客様に施術する上で、技術に合わせ専門的な知識と提案力が重要である。この授業ではネイルケアとネイル知識、衛生管理、ジェルネイルの特質を学び、ジェルネイル検定初級取得を目指す。取得することでサロンワークに必要な知識と技術を習得し、お客様に信頼され常に満足して頂ける知識習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ジェルを施す前提にケアの必要性と手順を説明し、実施できる	
	○					ジェルの特性や留意点を5つ以上説明できる	
	○					爪の構造と働きを学び、施術可否について説明することができる	
	○					安全で安心な衛生管理について学び、用具の管理方法を説明できる	
○					健康で美しく保つネイルケアの工程を実践できる		
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルベーシック、ジェルネイル編、フット編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	材料基礎理論① 主成分、重合メカニズム、波長			毎回テキスト、ノートを持参		
	2	材料基礎理論② 光重合、ラジカル、反応システム、種類					
	3	衛生管理					
	4	トラブル要因と対策					
	5	ジェル検定過去問題					
	6	小テスト、解説					
	7	フット トラブルと対処法					
	8	フット トリートメント理論					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			○		80%
	小テスト	○			○		20%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	テキスト、ノート持参						

課目名	着付け						
課目名(英)	Japanese Dressing						
課目単位数	—	時間数	16時間	担当者	石橋みどり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年						
授業概要	日本固有の衣装である着物についてその作過程における染織などの高度な技術を知るとともに、着付けを通して日本文化に触れ自然と共にある生活様式に対する理解を深め、生徒の日本独自の感性を育成する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				着物の概要について説明できる(歴史・製作方法・着物の品格・TPO)	
	○	○				着付けに必要な道具の名称と使用用途を説明できる。	
			○			自分で自分の着付けができる。	
			○			講師の指導の下、他人を着付けることができる。	
		○			着付けを特技とし、着物文化に貢献できる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	一年次の復習(着付けの下準備、着方、たたみ方、しまい方)				着付に必要な小道具について復習する 着付手順について復習する	
	2	一年次の復習Ⅱ(美しく装うための工夫について)					
	3	自分で着物を着て帯を結ぶ					
	4	衿のつけ方を学ぶ				裁縫セットの準備・点検	
	5	帯結びのバリエーションを増やす(二重太鼓)					
	6	帯結びのバリエーションを増やす(変わり結び)				結びたい帯がある場合は写真を持参	
	7	自分で袴を着る				着付に必要な着物がある場合は持参	
	8	袴を着付けて、疑似卒業式を行う					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	下記の観点・割合で評価する。 授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技(知識の習得)	○	○				60%
	実技(着付けのセンス)		○				20%
	授業態度				○		20%
履修上の注意							

課目名	デッサン						
課目名(英)							
単位数	—	時間数	42時間	担当者	仲真市		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年						
授業概要	線の基本的要素から始まり、明暗・陰影の現象を再認識することで、形とボリュームの捉え方を学び、また、色彩学の基礎を理解させることで美容業のカラー、メイクアップとの関連付けができ、より深い知識が備わる。デッサンを通して美を追求する力と感性を育む。鉛筆を用いて線描 > 優美な線の表現を身につける、濃淡による陰影表現 > 眼で得る情報を分析し再構築して画面に表現する。視力は感性を通して手技の身体能力たる描写力に直結する。逆に描写力養成は感性を育む。感性は手仕事、表現に必須である。絵具と筆を用いて色彩効果を学習し、人物が備える色彩を混色で的確に表出する。色彩が量感、空気感をも表現することを各々感得することを旨とする。ちょっとした違いに気付くことが大切、ちょっとした差が「凡庸」と「非凡」の大差である。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					色彩体系を説明できる	
	○	○				人物の骨格を表現できる。	
	○	○				量感を理解し、適切な表現方法を選択できる	
	○	○				画材による中間色の表現を会得する。人間の特色を感得し表現できる	
テキスト・教材 参考図書	必要に応じて印刷物、画用紙を配付。デッサン道具一式。						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	色彩構成-市街地の景観から色彩を抽出し、再構成して表現する。					
	2	色彩構成-市街地の景観から色彩を抽出し、再構成して表現する。					
	3	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	4	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	5	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	6	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	7	植物描写-薔薇の花びらのグラデーションをリアルに描く。					
	8	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	9	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	10	水滴描写-水滴の光沢、反射、陰をよく観察してリアルに表現する。					
	11	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	12	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	13	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	14	季節の色彩-紅葉を観察描写する。秋の色彩を現実的に理解する。					
	15	人物描写-フルカラー表現、人物をリアルに描く。					
	16	人物描写-人物写真をもとに丁寧にトレーシング、目鼻から始める。					
	17	人物描写-細かい筆さばきにはとても時間が掛かる。入念に進める。					
	18	人物描写-皮膚の色調、頭髪の流れをていねいに表現する。					
	19	人物描写-破綻がないか確認して、微調整して完成。合評する。					
	20	人物描写					
21	人物描写						
評価方法	(1)各回で演習する配付物、制作する作品を丁寧に仕上げる。(2)提出日時に提出する。(3)態度・意欲に関しては、作品の完成度・観察力・技量・集中力・思考力によって評価する。 下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	作品、配付物			◎	○		100%

科目名	ネイル理論						
科目名(英)	Nail theory						
単位数	—	時間数	15時間	担当者	林理沙		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科2年 メイク・ネイルコース						
授業概要	ネイリストとしてお客様に施術する上で、技術に合わせ専門的な知識と提案力が重要である。この授業ではネイルケアとネイル知識、衛生管理、ジェルネイルの特質を学び、ジェルネイル検定初級取得を目指す。取得することでサロンワークに必要な知識と技術を習得し、お客様に信頼され常に満足して頂ける知識習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ジェルを施す前提にケアの必要性和手順を説明し、実施できる	
	○					ジェルの特性や留意点を5つ以上説明できる	
	○					爪の構造と働きを学び、施術可否について説明することができる	
	○					安全で安心な衛生管理について学び、用具の管理方法を説明できる	
○					健康で美しく保つネイルケアの工程を実践できる		
テキスト・教材 参考図書	JNAテクニカルベーシック、ジェルネイル編、フット編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	材料基礎理論① 主成分、重合メカニズム、波長			毎回テキスト、ノートを持参		
	2	材料基礎理論② 光重合、ラジカル、反応システム、種類					
	3	衛生管理					
	4	トラブル要因と対策					
	5	ジェル検定過去問題					
	6	小テスト、解説					
	7	フット トラブルと対処法					
	8	フット トリートメント理論					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			○		80%
	小テスト	○			○		20%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	テキスト、ノート持参						

課目名	着付け						
課目名(英)	Japanese Dressing						
課目単位数	—	時間数	16時間	担当者	石橋みどり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当課目			
対象学科・学年	ビューティースペシャリスト科 2年						
授業概要	日本固有の衣装である着物についてその作過程における染織などの高度な技術を知るとともに、着付けを通して日本文化に触れ自然と共にある生活様式に対する理解を深め、生徒の日本独自の感性を育成する。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				着物の概要について説明できる(歴史・製作方法・着物の品格・TPO)	
	○	○				着付けに必要な道具の名称と使用用途を説明できる。	
			○			自分で自分の着付けができる。	
			○			講師の指導の下、他人を着付けることができる。	
		○			着付けを特技とし、着物文化に貢献できる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	一年次の復習(着付けの下準備、着方、たたみ方、しまい方)				着付に必要な小道具について復習する 着付手順について復習する	
	2	一年次の復習Ⅱ(美しく装うための工夫について)					
	3	自分で着物を着て帯を結ぶ					
	4	衿のつけ方を学ぶ				裁縫セットの準備・点検	
	5	帯結びのバリエーションを増やす(二重太鼓)					
	6	帯結びのバリエーションを増やす(変わり結び)				結びたい帯がある場合は写真を持参	
	7	自分で袴を着る				着付に必要な着物がある場合は持参	
	8	袴を着付けて、疑似卒業式を行う					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	下記の観点・割合で評価する。 授業態度は、出席・提出物・授業中の居眠りの回数などで評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技(知識の習得)	○	○				60%
	実技(着付けのセンス)		○				20%
	授業態度				○		20%
履修上の注意							